



平成28年4月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 阿 波 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 岡 田 好 史
(コード番号 8388 : 東証第一部)

問 合 せ 先 執行役員経営統括部長 山 下 真 弘
兼バリュープロジェクト室長
電 話 番 号 (088) 623-3131

新経営計画「Sparkle 125th」の策定について

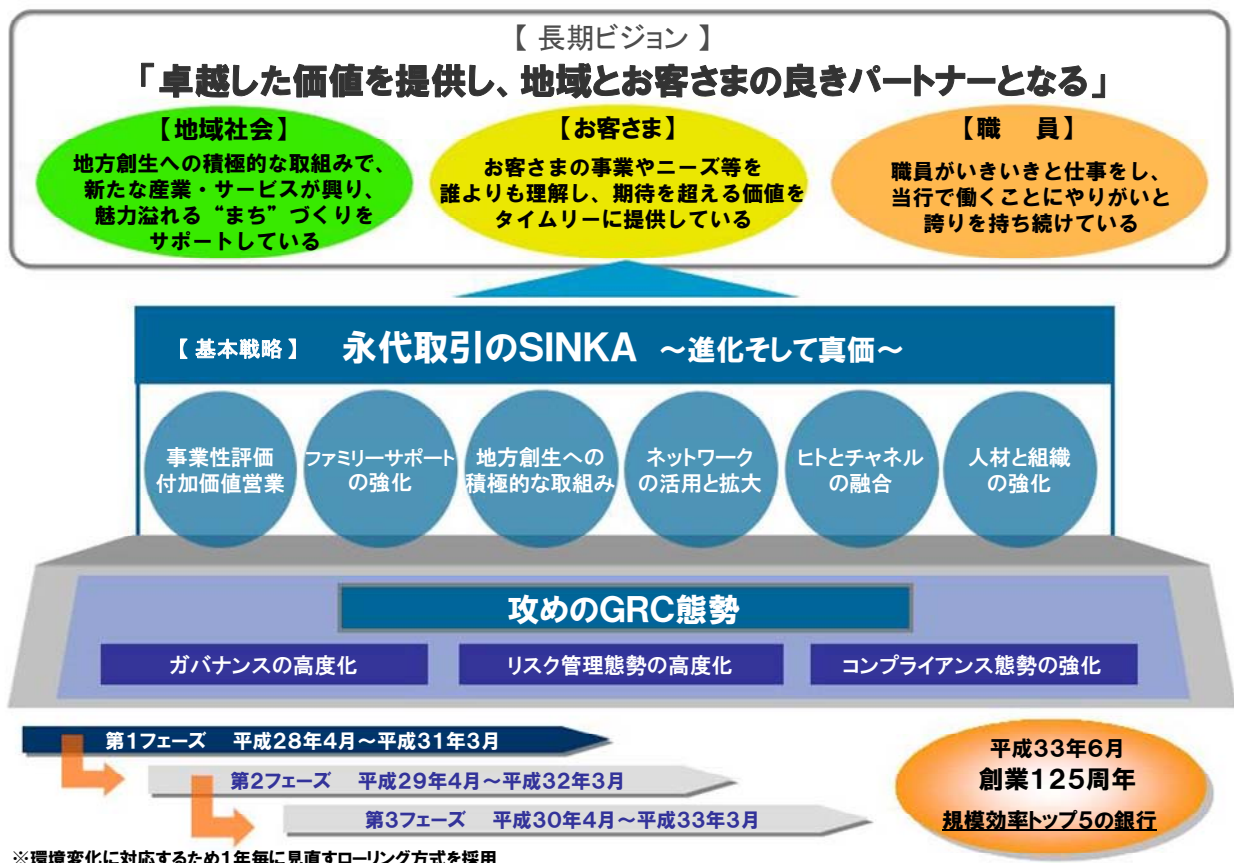
阿波銀行（頭取 岡田好史）では、5年後の125周年に向けた新経営計画「Sparkle 125th」の第1フェーズとなる3ヵ年計画を策定いたしましたので、概要を別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

- 【 名 称 】 Sparkle 125th
- 【 テ ー マ 】 ～ 地域密着一等星銀行へ～
- 【 計画期間 】 平成28年4月 ～ 平成31年3月 (第1フェーズ3ヵ年)
※「Sparkle 125th」の期間は5年間(平成28年4月1日～平成33年3月31日) であるが、環境変化に機動的に対応していくため、3年計画を1年毎に見直すローリング方式を採用。
- 【 基本戦略 】 永代取引のSINKA ～進化そして真価～
- 【 経営目標 】 規模効率トップ5の銀行

Sparkle(スパークル) : 煌めき、輝き、活気
 一等星 : 自分自身で光り輝く恒星の中で最も明るい星
 永代取引 : 目先の短期的な利益を求めめるのではなく、世代を超えた息の永い取引を継続し、永続的な発展に寄与していくという当行の伝統的営業方針

長期ビジョン、基本戦略



地方銀行の中で規模効率トップ5の銀行をめざす

永代取引のSINKA ～進化と真価～

<p>事業性評価付加価値営業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 適正な事業性評価と真の経営課題の把握 ■ 県外営業人員の増員 ■ 新マーケットでの融資推進 ■ 国際ビジネスの強化 ■ ライフステージに応じたソリューションの提供 	<p>ファミリーサポートの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 預かり資産営業の推進強化 ■ 無担保個人ローンの推進強化 ■ 非対面チャネルの機能拡充 ■ 富裕者・高齢者向け商品・サービスの充実 ■ 相続ソリューション営業の強化
<p>地方創生への積極的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地方創生ファンド等を活用した経営支援 ■ 行政・大学・研究機関等との連携強化 ■ 6次産業化、観光客増加に向けた支援強化 ■ 企業誘致、海外展開の支援強化 ■ 子育て世帯、女性就業者への支援強化 	<p>ネットワークの活用と拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広域ネットワークを活用したビジネスマッチングの強化 ■ あわぎんグループの連携強化と総合力発揮 ■ 外部提携先の活用・拡大 ■ 情報共有サイトの徹底活用と高度化
<p>ヒトとチャネルの融合</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 独自性のあるオムニチャネルの構築 ■ 営業支援システムの活用による情報連携 ■ フィンテックの活用 ■ お客さまの潜在ニーズを実現するオーダーメイドの価値提供 	<p>人材と組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業性評価力、法人営業力の強化 ■ 専門資格取得者の増加 ■ 女性行員、シニア嘱託、業務職の活躍推進 ■ CIS向上運動の徹底推進 ■ 女性活躍プロジェクト「AWA dONNA」活動の強化

攻めのGRC態勢

<p>ガバナンスの高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 持続的ROE経営の実践 ■ 内部監査態勢の高度化 ■ 業務継続態勢の強化 	<p>リスク管理態勢の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 持続的な有価証券関係損益等の計上 ■ ストレステストの充実 ■ 潜在リスクの削減に向けた取組の強化 	<p>コンプライアンス態勢の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客保護・情報管理態勢の強化 ■ 事故等の未然防止態勢の強化 ■ 法制度・規制改正への能動的対応
--	---	--

経営目標	(第1フェーズ) 平成31年3月期目標	(最終年度) 平成33年3月期目標
修正OHR	60%未満	57%未満
当期純利益ROA	0.4%以上	0.4%以上
ROE	5%以上	5%以上
株主還元率	40%以上	40%以上